

≡二講演会のご案内

「一常民の対近隣アジア感覚」

～ある戦前昭和史の体験と記憶から～

日時：2018年2月21日 14:00～16:00

会場：中央公民館 3F 8,9号室

講師：栗田 博行氏 元NHKプロデューサー
(ところざわ倶楽部特別会員)



講師紹介：

昭和14年松山市生まれ。早稲田大学文学部卒 昭和 38年NHK松山局入局。教育・教養番組を中心に制作現場を歩む。「大江健三郎・私の子規」、坪内揆典、司馬遼太郎共演による「人間・正岡子規」吉田松蔭と子規を論じた司馬・大江対談「師弟の風景」、「司馬遼太郎・雑談『昭和』への道」(NHKブックス「昭和という国家」として採録などを手がけた。ところざわ倶楽部 文芸講座「人間・正岡子規(2014年)」、「人間・夏目漱石(2017年)」で講演。

戦前、2歳のころの朝鮮半島への渡航。自身にその体験の記憶はないのですが、終戦直後6歳のころ、そのことについて呟いた母の言葉が耳に残り、70年を超えて自問自答の核となっています。アジアとの具体的関わりの点では平均的日本人のひとり（あるいはそれ以下）と自認していますが、ささやかでプライベートなその体験と記憶の、今日的意味を考えてみたいとおもいます。